

事業の実施内容及び成果に関する報告書

1 事業名

2021年度国内スポーツ競技力向上のための補助事業

2 事業の実施経過

(1) 事務手続関係

2021年 4月 6日 交付決定通知書受理(4月1日付)
4月13日 補助金交付誓約書提出
9月 6日 計画変更申請書提出
9月27日 事業の計画の変更に関する承認受理(9月22日付)
10月13日 状況に関する報告書提出
10月28日 名称変更届提出(協会名)
2022年 1月26日 分割払い申請書提出(第1回)
2月 2日 名称変更届提出(会長名)
2月24日 分割払金受領(707,962円)
3月31日 分割払い申請書提出(最終回)
4月 日 分割払金受領(14,313,200円)

(2) 事業関係

①第21回全国障害者スポーツ大会(三重県)

令和3年4月1日 三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会と委託契約締結。

令和3年8月25日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会中止。

②第21回全国障害者スポーツ大会予選会実施

令和3年4月1日 (一財)全日本ろうあ連盟スポーツ委員会、(社福)日本盲人会連合会全日本グラウンドソフトボール連盟、日本車いすバスケットボール連盟、(一社)全日本知的障がい者スポーツ協会、(公社)日本精神保健福祉連盟精神障害者スポーツ推進委員会とそれぞれと委託契約締結。

令和3年4月～7月 全国6～8ブロックで各団体競技予選会を一部実施。

③国際盲人マラソン大会

令和3年3月17日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止。

④国際大会日本代表ユニフォーム経費

北京2022パラリンピック冬季競技大会

令和3年10月 ユニフォーム業者の選定予定

令和4年3月4日開会式 ～ 13日閉会式（10日間）

3 実施内容及び成果

(1) 実施内容

①第21回全国障害者スポーツ大会（三重県）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会中止。

②第21回全国障害者スポーツ大会予選会実施

競技	ブロック名		開催縣市	開催予定会場	開催日	開催可否	オンライン抽選	代表チーム	決定方法
バレーボール (身体障害)	北海道・東北	男子	山形県	東根市民体育館	5/22・23	その他	○	青森県	参加チームが1チーム
		女子						岩手県	参加チームが1チーム
	関東	男子	埼玉県	上尾運動公園体育館	5/16	その他	○	栃木県	参加チームが1チーム
		女子						東京都	優勝チーム
	北信越・東海	男子	三重県	四日市市総合体育館	6/13	その他	○	愛知県	参加チームが1チーム
		女子	三重県					開催中止	○
	近畿	男子	和歌山県	和歌山県立体育館	6/6	開催中止	○	兵庫県	抽選
		女子						大阪市	抽選
	中国・四国	男子	岡山県	備前市総合運動公園体育館	5/15・16	開催中止	○	鳥取県	抽選
		女子						その他	○
	九州	男子	熊本県	山鹿市カルチャースポーツセンター総合体育館	5/8	開催中止	○	福岡県	抽選
		女子						その他	○

競技	ブロック名		開催縣市	開催予定会場	開催日	開催可否	オンライン抽選	代表チーム	決定方法	
(知的障害)	北海道・東北	男子	山形県	セキスイハイム・サブアリーナ	5/22	開催中止	○	宮城県	抽選	
		女子					○	宮城県	抽選	
	関東	男子	埼玉県	千葉ポートアリーナ	5/22・23	開催中止	○	東京都	抽選	
		女子					○	東京都	抽選	
	北信越・東海	男子	三重県	四日市市総合体育館	6/12・13	開催中止	○	福井県	抽選	
		女子	三重県				○	岐阜県	抽選	
	近畿	男子	和歌山県	海南市総合体育館	6/6	開催中止	○	和歌山県	抽選	
		女子					○	兵庫県	抽選	
	中国・四国	男子	岡山県	高知県立春野総合運動公園体育館	6/12・13	開催中止	○	愛媛県	抽選	
		女子		高知県立障害者スポーツセンター	6/12・13		○	愛媛県	抽選	
	九州	男子	熊本県	宮崎県体育館	6/6	開催中止	○	佐賀県	抽選	
		女子					○	宮崎県	抽選	
	(身体障害)	北海道・東北		福島県	あづま総合体育館	6/19・20	開催中止	○	なし	その他
		関東		神奈川県	カルッツかわさき (川崎市は中止)	5/3	開催中止	○	さいたま市	抽選
北信越・東海			三重県	津市産業・スポーツセンター サオアリーナ	6/5・6	開催中止	○	愛知県	抽選	
近畿			兵庫県	兵庫県立障害者スポーツ交流館	6/6	開催中止	○	滋賀県	抽選	
中国・四国			徳島県	大塚スポーツパーク内 アミノバリューホール	5/23	開催中止	○	広島県	抽選	
九州			沖縄県	豊見城市民体育館	6/5・6	開催中止	○	長崎県	抽選	
(身体障害)		北海道・東北		岩手県		5/29・30	開催中止	○	なし	その他
	関東		群馬県		5/15・16	開催中止	○	群馬県	抽選	
	北信越・東海		富山県 愛知県		5/15・16 5/29・30	開催中止	○	愛知県	抽選	
	近畿		京都市		5/29・30	開催中止	○	京都府	抽選	
	中国・四国		山口県 愛媛県		5/15・16	開催中止	○	高知県	抽選	
	九州		鹿児島県		5/15・16	開催中止	○	鹿児島県	抽選	

競技	ブロック名		開催縣市	開催予定会場	開催日	開催可否	オンライン抽選	代表チーム	決定方法
バスケットボール (知的障害)	北海道・東北	男子	青森県	新青森県総合運動公園		開催中止	○	札幌市	抽選
		女子					○	北海道	抽選
	関東	男子	千葉県	千葉ポートアリーナ	5/22・23	開催中止	○	栃木県	抽選
							○	東京都	抽選
	北信越・東海	男子	三重県	四日市市総合体育館	6/12・13	開催中止	○	愛知県	抽選
		女子					○	愛知県	抽選
	近畿	男子	大阪市	①丸善インテックアリーナ大阪 ②舞洲障がい者スポーツセンター	①6/6・ ②13	開催中止	○	奈良県	抽選
		女子					○	和歌山県	抽選
	中国・四国	男子	徳島県	鳴門・大塚スポーツパークアミノバ リューホール	6/12・13	開催中止	○	高知県	抽選
		女子					○	山口県	抽選
	九州	男子	大分県	昭和電工武道スポーツセンター	4/17・18	開催中止	○	佐賀県	抽選
		女子					○	鹿児島県	抽選
ソフトボール (知的障害)	北海道・東北		岩手県	都南中央公園	6/20	実施	/	岩手県	優勝チーム
	関東		埼玉県	荒川総合運動公園	5/15	開催中止	○	東京都	抽選
	北信越・東海		三重県	赤羽公園野球場	6/12・13	開催中止	○	愛知県	抽選
	近畿		大阪府	淀川河川公園	6/6	開催中止	○	神戸市	抽選
	中国・四国		愛媛県	松山中央公園運動広場	5/15・16	開催中止	○	愛媛県	抽選
	九州		長崎県	大村市総合運動公園	5/8	開催中止	○	長崎県	抽選
サッカー (知的障害)	北海道・東北		北海道	サングリンススポーツヴィレッジ	6/5・6	開催中止	○	岩手県	抽選
	関東		埼玉県	加須市騎西中央公園	4/24・25	実施	/	東京都	優勝チーム
	北信越・東海		三重県	三重交通Gスポーツの杜鈴鹿	6/5・6	開催中止	○	福井県	抽選
	近畿		滋賀県	水ロスポートの森公園	6/6	開催中止	○	滋賀県	抽選
	中国・四国		岡山県	美作ラグビー・サッカー場	5/22・23	開催中止	○	岡山県	抽選
	九州		福岡県	福岡フットボールセンター	6/12・13	開催中止	○	鹿児島県	抽選
フットベースボール (知的障害)	北海道・東北		仙台市	シェルコムせんだい	6/27	実施	/	宮城県	
	関東		群馬県	登利平桃ノ木川グラウンド	5/16	開催中止	○	埼玉県	抽選
	北信越・東海		三重県	長沢野球場	5/30	開催中止	○	福井県	抽選
	近畿		奈良県	奈良県心身障害者福祉センター	6/6	開催中止	○	和歌山県	優勝チーム
	中国・四国		山口県	山口きらら博祈念公園	6/5・6	開催中止	○	鳥取県	抽選
	九州		熊本県	熊本市植木中央公園	5/15	開催中止	○	熊本県	抽選

競技	ブロック名		開催縣市	開催予定会場	開催日	開催可否	オンライン抽選	代表チーム	決定方法	
バレーボール (知的障害)	北海道・東北	男子	宮城県	セキスイハイム・サブアリーナ	5/22	開催中止	○	宮城県	抽選	
		女子					○	宮城県	抽選	
	関東	男子	千葉県	千葉ポートアリーナ	5/22・23	開催中止	○	東京都	抽選	
		女子					○	東京都	抽選	
	北信越・東海	男子	三重県	四日市市総合体育館	6/12・13	開催中止	○	福井県	抽選	
		女子					○	岐阜県	抽選	
	近畿	男子	和歌山県	海南市総合体育館	6/6	開催中止	○	和歌山県	抽選	
		女子					○	兵庫県	抽選	
	中国・四国	男子	高知県	高知県立春野総合運動公園体育館	6/12・13	開催中止	○	愛媛県	抽選	
		女子		高知県立障害者スポーツセンター	6/12・13		○	愛媛県	抽選	
	九州	男子	宮崎県	宮崎県体育館	6/6	開催中止	○	佐賀県	抽選	
		女子					○	宮崎県	抽選	
	(精神障害) バレーボール	北海道・東北		秋田県	秋田県立体育館	6/1	開催中止	○	青森県	抽選
		関東		神奈川県	神奈川県立スポーツセンター	6/6	開催中止	○	神奈川県	抽選
北信越・東海			三重県	津市安濃中央総合公園内体育館	6/12・13	開催中止	○	福井県	抽選	
近畿			京都府	京都府立山城総合運動公園	6/13	開催中止	○	神戸市	抽選	
中国・四国			高知県	高知県立春野総合運動公園体育館	6/12・13	開催中止	○	広島市	抽選	
九州			沖縄県	—	5/23	開催中止	○	佐賀県	抽選	

※状況写真

②第21回全国障害者スポーツ大会予選会実施
知的サッカー競技（関東ブロック）



③国際盲人マラソン大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会中止。

④国際大会日本代表ユニフォーム経費

大会名称：北京2022パラリンピック冬季競技大会

「Beijing 2022 Paralympic Winter Games」

大会期間：2022年3月4日（金）開会式～3月13日（日）閉会式（10日間）

開催地：中華人民共和国（北京市・北京市延慶区、河北省張家口市）

参加国・地域：46か国・地域

開催規模：6競技・78種目 参加選手数564名（男子428名、女子136名）

日本代表：73名 選手29名（男子22名、女子7名）

競技パートナー1名、コーチ・スタッフ29名、本部役員14名

日本代表成績

金4個、銀1個、銅2個 計7個 4～8位入賞 34

競技	参加数	金	銀	銅	計	入賞					
						4位	5位	6位	7位	8位	計
AS	14	3	1	2	6	1	5	4	2	6	18
CC	9	1	0	0	1				5	3	8
BT		0	0	0	0				1		1
SB	6	0	0	0	0		2		2	3	7
合計	29	4	1	2	7	1	7	4	10	12	34

- ・ AS=アルペンスキー CC=クロスカントリースキー
- BT=バイアスロン SB=スノーボード
- ・ 参加数が8名以下の場合は、「参加数マイナス1」の順位までを「入賞」として扱っている



(2) 成 果

②第21回全国障害者スポーツ大会予選会実施

新型コロナウイルス感染症、感染拡大防止のため、ほとんどの予選会で実際の試合を行うことができなかったが、数か所においては、感染対策を行い、2年ぶりに試合を行うことができた。また、感染症対策として、抽選会で代表を選出するなどできる範囲で対応することができた。関係者の連携により、来年度に向けた体制を整備することができた。

④国際大会日本代表ユニフォーム経費

北京2022パラリンピック冬季競技大会の日本代表選手団ユニフォームを作製した。東京大会に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策を行ったため、現地で日本代表選手を応援することはできなかったが、日本代表選手団は、金メダル4個を含む、合計7個のメダルを獲得し大活躍した。

選手がユニフォームを着用し、活躍する姿は、テレビ、新聞等のメディアを通じて、日本でも多く報道され、多くの人々が一体となり応援することができた。

なお、成果物一覧は（別添1）のとおり、配布先一覧は（別添2）のとおり

- 4 事業実施に関して特許権、実用新案権等を申請又は取得したときはその内容特になし。

5 今後予想される効果

②第21回全国障害者スポーツ大会予選会実施

今回の予選会は、数か所でしか実際に試合形式の予選を行うことができなかったが、感染症防止対策は、徹底して行われており、その結果、実施した予選会はクラスターになることはなく、選手は安心安全に予選会に参加することができた。今後、新型コロナウイルス感染症はすぐには無くなることが考えにくいため、次年度以降の予選会の開催に向けて今回の実施対策を共有し実施する。

スポーツ大会の多くが中止になる中、選手が楽しみにしていた試合が少しでも開催できたことが、関係者のモチベーションアップにつながった。今後も身近でスポーツが再開できるように関係団体と連携を取り進める。

④国際大会日本代表ユニフォーム経費

北京2022パラリンピック冬季競技大会のユニフォームは、北京2022オリンピック冬季競技大会と同じユニフォームを作製して、オリパラ一体を多くの人にアピールすることができた。

同じ年度内で夏、冬両方のパラリンピックが開催されることはなく、まさにスポーツの年となった。国民のパラリンピックに対する興味が深まっている中、このよい波を活かし、パラスポーツのファンを増やすよう普及計やつ活動を行う。

- 6 本事業により作成した印刷物
特になし。

7 報告事項

(1) 審査・評価委員コメントへの対応状況

【自主財源の確保を図り、JKA補助金の割合の縮小を具体的に示すなど、自走化に向けた努力が必要。】

東京2020パラリンピック競技大会終了後、東京大会までと考えている企業に対し、もっとパラスポーツを盛り上げる協力を頂くため、新たにJPCオフィシャルスポンサー制度を作り、JPSAオフィシャルパートナーと、2本立てで協会の財政基盤の安定化を図っている。

東京大会での盛り上がりを維持したまま、より多くの企業、ファンを味方につけるように協賛、寄附活動を行っている。

(2) 継続事業の成果と意義

②第21回全国障害者スポーツ大会予選会実施

予選会は、国内を6ブロックに分け、それぞれ持ち回りで開催している。毎年違う県が予選会を開催することにより、競技の普及が進む。

また、本予選会の公平な開催により、国内最大規模の全国障害者スポーツ大会の公平安全な開催に繋がる。

④国際大会日本代表ユニフォーム経費

国際大会に出場する、日本代表選手団のユニフォームを作ることにより、「JAPAN」の誇りを持ち、日本代表として選手は戦う気持ちを盛り上げ、また、応援する多くの人に日本代表であることを示すことができる。